

Nutsの事業戦略の3本の柱

2016年のNutsへの社名変更を機に弊社は全体的な構造改革を行なっている最中ではありますが、中期的に医療関連事業を中心とした3つの大きな柱を成功に導くことで、飛躍的に事業収益を改善できると考えております。

1. 会員制医療サービス事業

まずは会員制医療サービスですが、現在日本国内及び中国国内で販売をしております。年一回の健診を中心にしている同様のサービスが国内にもありますが、弊社はそのようなサービスと差別化を図るために会員様との「コミュニケーションの質と量」に重きをおいて展開しております。

ゆえに弊社としては入会金や年会費収益で単一のサービスを提供するのではなく、周辺サービスにおいても収益につながる事業であるにとらえております。国内販売においては、十分な説明と視察などのご体験を経て会員登録を進めています。現在は弊社営業部とエージェント数社で募集活動を担っており、営業を促進するために研修などを経て上半期中に10社までエージェントを増やす予定です。

中国においても同様の会員制医療サービスを募集しておりますが、日本と同等の「コミュニケーションの質と量」を提供するために青島、北京、上海に医療相談のできる会員専用サロンを運営する予定です（上半期は青島を開設予定）。中国におけるマーケット規模は様々なデータや中健健康産業発展有限公司とのマーケティング協議から日本の10倍程度と試算しております。

2. アジュバント事業

次なる柱としてはアジュバント事業にとらえております。前述の通り、1つ目の柱である会員制医療サービスは「コミュニケーションの質と量」が大事です。ゆえにこのアジュバント事業は健診以外の時間に会員様のQOL（クオリティオブライフ）を高め、コミュニケーション量を増やす事業であるにとらえています。

しかしながらこのアジュバント製品のマーケット規模は大きく会員サービスに収まりきるものではありません。現在商品化を進めているiCU（仮称、おもに腸内正常化に関連するアジュバント関連製品）は、おおむね全ての寝たきり患者様を対象とする介護食品です。

日本由来の乳酸菌製品や発酵生産物を組み合わせることで、病気の患者様の便秘や下痢も改善されるアジュバント関連製品なので、寝たきり患者様だけでなく、より多くの方が対象となります。

その点においては弊社がすでに懇意にしている販売チャネルも多く、また中国における腸内正常への関心は、食生活の点から日本より高いのです。弊社の収益の基盤として、幅広いマーケットで販売を予定しています。

3. IR関連事業

3つ目の柱はIR関連事業です。統合型リゾートには日本人だけでなくたくさんの外国人の方が来訪すると予測されております。来日外国人向けに弊社なりのサービスを提供する準備を進めております。こちらは準備が整い次第公表させていただきます。

追記

弊社従業員も日々増えており、HPでの情報提供も高頻度で行なえる体制が整ってまいりました。これからも弊社の事業内容をわかりやすく伝えて行くことができるよう努力してまいります。